

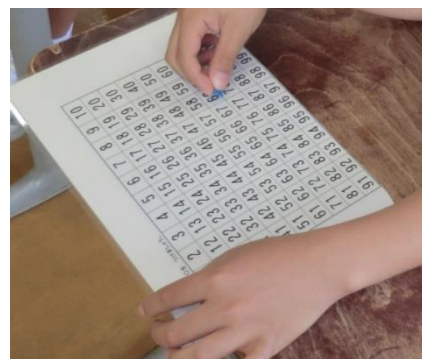
# 算数「100までビンゴ」

- ・数唱と数字を対応させる
- ・100までの数の理解
- ・集中して聞く

☆ すうじに ○を つけましょう。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50
51	52	53	54	55	56	57	58	59	60
61	62	63	64	65	66	67	68	69	70
71	72	73	74	75	76	77	78	79	80
81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
91	92	93	94	95	96	97	98	99	100

ラミネートした数字表に、カラービニールテープのシールを貼る。何度でも貼り直しが可能なので、繰り返し取り組める。



ビニールテープの端を少し折り曲げておくことで、不器用な子供にも扱いやすい。

問題の数で時間調整が可能なので、すき間時間に取り組みやすく、ゲーム感覚で楽しめる。

## (使い方)

- ・教師が数字を読み上げるのを聞く。
- ・数字を探し、シールを貼る。
- ※分からないときは「20の段」「5の列」などのヒントを
- ・シールが5つ並んでないか確かめる。

台紙に数字をランダムに記入させる、問題を出し合う、問題を計算式で出す、などの応用も考えられる。

# 算数・数学「模擬時計」

- ・時計の長針を読んで言うことができる。
- ・時計の長針と短針を読み、「時」と「分」を組み合わせることで言うことができる。



段階的に定着を図ることができるように、「分」が書いてあるシートや文字盤を色分けしたシート、針などを重ねたり取ったりする。

個人用は机の上に置いて、プリント学習ができる大きさに作成！

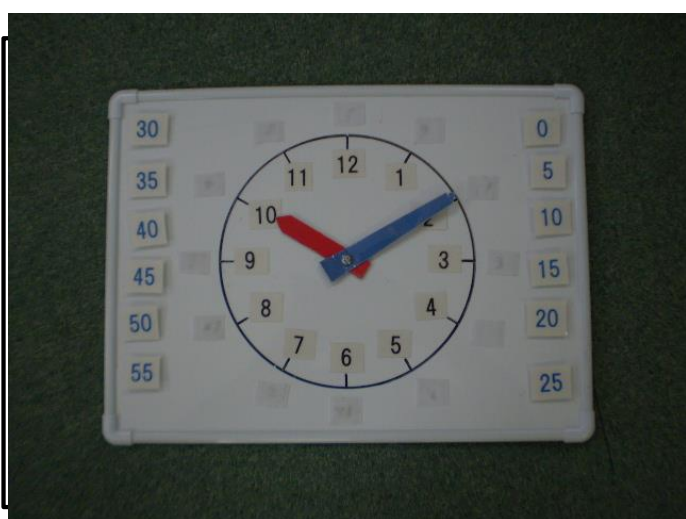


## <使い方>

- ①短針を外し、長針のみの時計にし、自分で長針を動かしながら、「分」を順番に唱えたり、教師が提示した「○分」に合わせたりする。
- ②必要に応じて模型時計を使いながら、「分」を読むプリントを1人でする。
- ③長針の読み方をおおむね覚えた生徒から、補助シートを外してプリント学習をする。

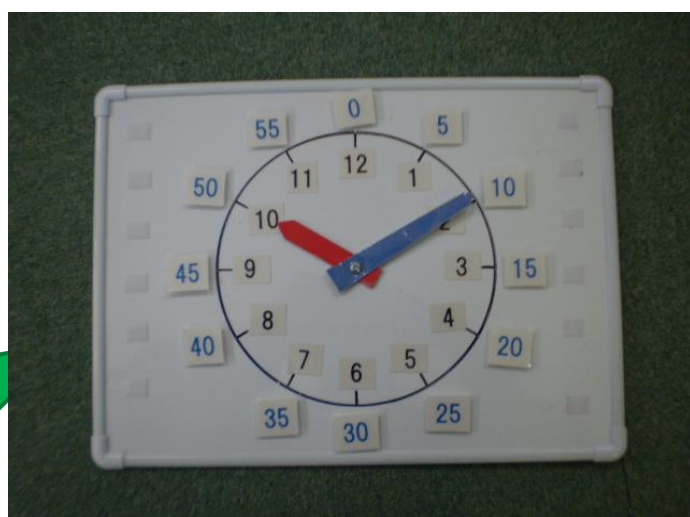
## 数学・算数「時計盤」

- ・自分の時計盤に5とびの数カードを貼ることができる。
- ・時計の長針を5分単位で読むことができる。



1～12までの短針の時刻に対応した、5とびの数を貼り、5分単位の長針の時刻を確認することができる。

短針、長針や5分単位の数を生徒の実態に合わせて取り外すことができる。



### 使い方

- ①児童生徒の実態に合わせて長針、短針や5分単位の数を付けたり外したりする。
- ②教師の指示した時刻に長針や短針を動かして読む。

## 算数「上下左右」

ねらい ○○の上（下、右、左）がわかり、正しい位置にカードを置くことができる。



指示書を見て、動物を正しい位置（マジックテープのついたマスの中）に入れていく。

中央に児童の顔写真カードを貼り付けている。指示書には、「とりは わたしの 1つ うえ」「たこの 2つ みぎに えびをおく。」などと書く。

- ① とりは わたしの 2つ した
- ② さるは わたしの 1つ うえ
- ③ うさぎは わたしの 1つ みぎ
- ④ ねこは わたしの 2つ ひだり
- ⑤ ふたは ねこの 2つ うえ
- ⑥ たこは とりの 2つ みぎ
- ⑦ たこの 1つ うえに えびをおく
- ⑧ ねこの 2つ したに きつねをおく

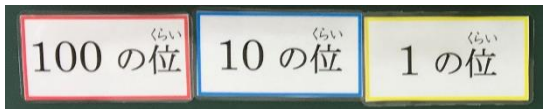
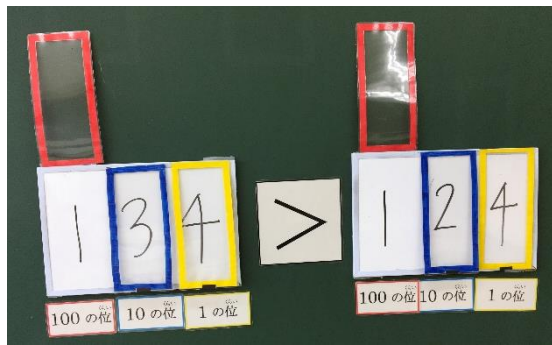
<使い方> 上下左右の理解、簡単な指示理解の教材として、個別の学習場面や家庭学習で使用する。マスをマンションの部屋にたとえ、動物たちをお家に帰そうね、と楽しく取り組むとよい。

# 教材の紹介

## 算数「数の大小を比べよう」

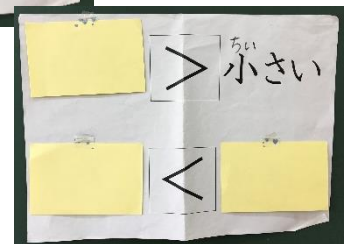
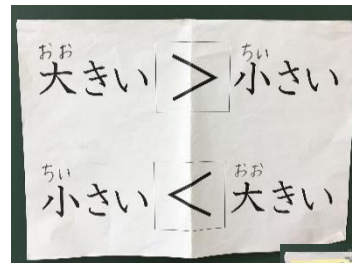
ねらい

- 一の位、十の位、百の位が分かる。
- 数の大小が分かる。
- 不等号を正しく答えることができる。



- 位ごとに色を分けることで、色も手掛かりにできるようにした。
- 注目すべき数字が四角の枠で囲まれている。

- 不等号の向きを覚えられるように、毎時間の始めに確認した。



<使い方や授業の展開例>

- 位と位の名称を確認する。
- 比較ボードを一の位から順番に見て、二つの数の大小を比較する。
- 不等号カードを正しい向きで貼る。



比較ボード